

子どもたちは 大切な“まち”の宝物 〜地域で守ろう!「子どもの安全」〜



④生活安全課

☎53—8468

連日のように報道される痛ましい事件。近年、中学生以下の子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が全国で頻発しています。特に「声かけ」や「いたずら」といった、子どもたちに直接接触するケースが目立ちます。これから日暮れが早くなり、危険が増します。大切な子どもたちが安心して通学し、外で遊ぶことができる環境を守るためには、私たちにできることは何でしょうか？

秋晴れの空の下、子どもたちが自由に外で遊べる―そんなまちづくりには、家庭や学校、関係機関だけでなく地域全体の協力が必要です。

市内での子どもにかかわる不審者情報

子どもたちが被害者になる事件は、他人事ではありませんが、市内でも昨年は24件の不審者や声かけ事案が発生しました。今年も、8月末までに10件発生しています。ただし、これは警察に届出があり、認定された件数のみです。実際にはもっと多くの被害が出ているかもしれません。

子どもたちが、不審者から声をかけられる事件は、下校時・帰宅途中に集中しています。

声かけ事案の内容

小学生

- ・お母さんが入院したので、一緒に歩いてきて。車は近くの駐車場においてあるから。
- ・家(学校)まで車(自転車)で送ってあげようか? 車に乗らないか?
- ・お菓子(おもちゃ、ゲーム)を買ってあげるよ。
- ・一緒に犬を探してくれんか。
- ・音楽を聞かせてあげる。

中学生

- ・荷物重いやろ、家まで送っていく。あんたを知っている、お母さんも知っている。
- ・メル友にならんか? 車で送ってやるよ。

その他の不審者等

- ・写真を撮られる。
- ・車内からじつと見られる。
- ・後をつけられる、追いかける。
- ・不審な電話がかかってきた。



等